

報 告

令和8年7月22日

環 境 局

サーキュラーエコノミー推進課

第三セクターの経営情報について

(西日本ペットボトルリサイクル株式会社)

1 会社概況（令和 8 年3月末現在）

- (1)所 在 地 本社・工場：北九州市若松区響町一丁目62番
- (2)設立年月日 平成9年4月1日
- (3)代 表 者 代表取締役社長 千々木 亨
- (4)資 本 金 1億円
- (5)北九州市の出資金 500万円(出資の割合 5%)
- (6)当期末従業員 50名(取締役・パートタイマー・アルバイトを除く)

2 令和 7 年度 事業報告

同社は、市町村が分別収集する使用済みペットボトルを食品容器用再生PET樹脂製品及び非食品用途再生PET樹脂製品へリサイクルしており、北九州エコタウンの第一号立地企業として、平成10年7月に事業を開始した。

市が設置する環境産業推進会議に参画するほか、北九州エコタウン連絡会議において中心的役割を果たすなど、国内の資源循環や、本市の環境産業振興に寄与している。

(1)原料の調達状況

容器包装リサイクル法に基づく指定法人である、(公財)日本容器包装リサイクル協会からの廃ペットボトル原料の調達は、令和 6 年度までの原料争奪戦が沈静化したことから、令和 7 年度は、前年度比 1 万500トン増の 1 万 2,400 トンとなった。

これは、令和 6 年度までの原料価格高騰を受け、主要飲料メーカーが再生PET樹脂の使用計画を見直した影響等により、これまで市場を牽引してきた大手リサイクラーの調達姿勢が軟化し、高値での原料調達を控える等、需給の逼迫感が緩和されたためである。

同様に、市町村独自処理ルートや事業系原料などからの調達についても、需給の逼迫感が緩和されており、令和 7 年度の同社の総調達量は前年度比 6,700 トン増の 2 万 8,800 トンとなった。

(2)生産・売上の状況

原料調達量の回復により、生産量は前年度比 2,500 トン増の 2 万 1,100 トンとなり、売上高は前年度比 4 億 5,767 万円増の 38 億 6,336 万円となった。

(3)財務の状況

当期純利益 6,197 万円(R6 年度：▲1億 2,462 万円)

原料調達価格が下落に転じたことを受け、3 期ぶりの黒字決算となった。

また、資産合計から負債を差し引いた純資産は 14 億 2,519 万円であり、今後の事業継続は問題ない状況である。

3 決算報告書

損 益 計 算 書

令和 7 年4月1日～令和 8 年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
売上高 ①	3,863,360
売上原価 ②	3,472,670
販売費及び一般管理費 ③	319,259
営業利益 ①－②－③＝ ④	71,430
営業外収益 ⑤	3,287
営業外費用 ⑥	9,205
経常利益 ④＋⑤－⑥＝ ⑦	65,512
特別損失 ⑧	3,294
税引前当期純利益 ⑦－⑧＝ ⑨	62,218
法人税・住民税及び事業税 ⑩	▲246
当期純利益 ⑨＋⑩＝ ⑪	61,972

貸 借 対 照 表

令和 8 年3月31日現在

(千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,288,764	流 動 負 債	896,055
固 定 資 産	1,769,137	固 定 負 債	736,655
有形固定資産	1,761,014	負 債 合 計	1,632,711
無形固定資産	2,804	資 本 金	100,000
投 資 等	5,318	利 益 剰 余 金	1,325,190
		純資産合計	1,425,190
合 計	3,057,902	合 計	3,057,902